

日本鳥学会2017年度大会での山階鳥類研究所関係者の発表・話題提供・講師

【副所長・研究員・専門員等が参加している発表】

種類	日付	番号	タイトル	発表者	うち山階鳥研
口頭発表	16日	A16	ヤンバルクイナの野生復帰試験	○尾崎清明ほか	○尾崎清明
	16日	A19	再導入されたトキにおける性的刷り込み	○岡久雄二ほか	尾崎清明
	16日	A25	渡り鳥による種子散布ネットワークの構造と主要散布種の機能について	○大河原恭祐ほか	佐藤文男
	16日	A30	電柱鳥類学：鳥の利用状況 ～都市鳥にとっての止まり木としての電柱の実態把握～	○森本 元ほか	○森本元
	16日	B01	巣立ったアホウドリはどこへ行く？	Rachael A. Orbenほか	尾崎清明、佐藤文男、○出口智広
	16日	B03	伊豆諸島鳥島で同所的に繁殖するアホウドリ2系統の非繁殖期の利用海域	○佐藤文男ほか	○佐藤文男、富田直樹、綿貫豊*
	16日	B08	日本からのアメリカコアジサシの記録とコアジサシとアメリカコアジサシの初交雑記録	○茂田良光ほか	○茂田良光**
	16日	B16	東京都心におけるウミネコの屋上集団繁殖地の移動	○松丸一郎ほか	富田直樹
	16日	B19	亜種サドカケスの形態および遺伝的特徴による分類の再検討	○岩見恭子ほか	○岩見恭子
	16日	B21	ハシボソガラスと共存するハシブトガラスの頭骨3次元形態の形質置換	○山崎剛史ほか	○山崎剛史
ポスター発表	17日	P030	日本鳥類目録改訂第7版で採用された学名は正しいのだろうか？	○浅井芝樹ほか	○浅井芝樹、岩見恭子、亀谷辰朗***
	16日	P073	山階芳麿著「日本の鳥類と其の生態」—書誌学的研究の試み—	○鶴見みや古	○鶴見みや古
	16日	P093	シマアオジ <i>Emberiza aureola</i> 保全への国際協力	○シンバ・チャンほか	尾崎清明
	17日	P102	乗鞍岳における鳥類の垂直分布	○飯島大智ほか	森本元

種類	日付	番号	タイトル	話題提供者／主催者	うち山階鳥研	自由集会タイトル	主催者
自由集会	15日	W05	標本史研究っておもしろい—日本の鳥学を支えた人達	小林さやかほか(主催)	小林さやか		
	15日	W05	日本の動物採集家～折居彪二郎	○平岡考	○平岡考	標本史研究っておもしろい—日本の鳥学を支えた人達	小林さやかほか

種類	日付	番号	タイトル	講師	うち山階鳥研
テーマ別講習会	18-19日		鳥の学校：鳥類研究のためのDNAバーコーディング	齋藤武馬ほか	齋藤武馬

(注)山階鳥研から特任／客員研究員のみが参加している研究のうち、それぞれの主たる所属の組織で行った研究をその所属で発表するものは除外しました。

* = 特任研究員、** = 客員研究員、*** = その他

○ = 演者(発表担当者)